

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-143	高等学校	国語科	国語総合	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
183 第一	国総 361	高等学校 改訂版 標準国語総合		

<p>1. 編修の趣旨及び留意点</p> <p>教育基本法第2条ならびに高等学校学習指導要領に示された目標に準拠し、指導内容の十分な実現達成をはかり得る、基礎的な教科書として編修した。</p>
<p>2. 編修の基本方針</p> <p>本書は、教育基本法第2条に示す教育の目標を達成するために、下記のような基本方針に基づいて編修した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 古典や近現代のすぐれた文章に触れることによって、言語文化の伝統を理解し、豊かな感性や情緒を育むことができるようにした。</li> <li>2. 生徒が自主的・主体的に学習活動を行うことにより、思考力・判断力を養い、自発的・創造的な人間形成に進むことができるよう考慮した。</li> <li>3. 特に現代の文章や「表現の実践」においては、問題意識をもって取り組むことのできる教材を意識的に採録して、様々な社会的要請に応え得る人間性の育成に役立てられるようにした。</li> <li>4. すべての学習の根幹といえる言語の教育としての国語科の立場を重視し、社会で求められる言語力を身につけさせるとともに、言語文化の理解と享受を通して、我が国の言語文化に親しむことができるよう配慮した。</li> </ol>

3. 対照表		
図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
現代文編	<p>読書の幅を広げることができるよう、「読書のしるべ」を設定し、採録作家の書籍紹介を掲載した(第1号)。</p> <p>真理を探求する人間のさまざまなありようを示すことによって、生徒の人間性・社会性の涵養に働きかけられる題材を採録した(第1号)。</p> <p>すぐれた詩や短歌、俳句を採録し、作品の鑑賞を通して、豊かな情操を養うことができるよう配慮した(第1号)。</p> <p>自主・自律、労働といった、現実の諸問題に深く関わる題材を積極的に採録し、職業観・勤労観を養うとともに、生徒が自らの問題として考えを深めることができるよう配慮した(第2号)。</p> <p>「言語活動」を設定し、具体的な学習テーマと事例を示すことで、生徒が主体性を発揮して課題に取り組めるようにした(第2号)。</p> <p>科学技術の発展や戦争・紛争といった、現代社会を取り巻く諸問題に関わる題材を広く採録し、生徒が自らの問題として考えを深めることができるよう配慮した(第3号)。</p> <p>生命や自然、戦争・紛争など、現実の諸問題に深く関わる題材を採録し、生命・自然を尊ぶ態度を養うとともに、生徒が自らの問題として考えを深めることができるよう配慮した(第4号)。</p>	<p>前見返し</p> <p>p.10～17, p.18～24, p.26～40, p.96～104, p.105～118, p.148～157, p.172～178</p> <p>p.72～73, p.74～77, p.78～80, p.138～141, p.142～146</p> <p>p.72～73, p.96～104, p.129～136</p> <p>p.188～195</p> <p>p.42～54, p.82～94, p.120～128, p.129～136, p.159～170</p> <p>p.74～77, p.82～94, p.179～187</p>

	<p>比較文化論・言語論を積極的に採録し、我が国の言語文化に対する関心を喚起するとともに、他国の文化を尊重する態度を養うことができるよう配慮した(第5号)。</p> <p>「文学のしるべ」を設定して、我が国の言語文化を解説し、興味・関心を喚起できるようにした(第5号)。</p>	<p>p.56～62, p.63～70</p> <p>p.41, p.158</p>
表現の実践	<p>スピーチやディベート, 創作等の学習を設定し, 具体的な学習テーマと事例を示すことで, 生徒が主体性を発揮して課題に取り組めるよう配慮した。課題の内容についても, 生徒の自由な創造性を伸ばすことを目的としたものを多く取り入れた(第2号)。</p>	<p>p.196～218</p>
古文編	<p>真理を探求する人間のさまざまなありようを示すことによって, 生徒の人間性・社会性の涵養に働きかけられる題材を採録した(第1号)。</p>	<p>p.226～227 p.246 p.247, p.248, p.249, p.250～251</p>
	<p>「言語活動」を設定し, 具体的な学習テーマと事例を示すことで, 生徒が主体性を発揮して課題に取り組めるようにした(第2号)。</p>	<p>p.235, p.277～280</p>
	<p>古典における理念や社会秩序についての基本的な考え方に深く関わる題材を採録し, 生徒が現代の社会や人間関係にも共通する問題として考えを深めることができるようにした(第3号)。</p>	<p>p.222～223, p.232～235, p.236～237, p.242～243, p.244～245, p.254～257, p.258～261, p.262～263, p.281～283, p.284～285</p>
	<p>生命や自然に深く関わる題材を採録し, 表現を吟味する活動を通して, 生命・自然を尊重する態度を養えるよう考慮した(第4号)。</p>	<p>p.270～275</p>
	<p>「古文の学習」「古文を読むために」「古典のしるべ」を適宜設定して, 我が国の伝統的な言語文化を解説し, 興味・関心を喚起できるようにした(第5号)。</p>	<p>p.220～221, p.224～225, p.228～229, p.230, p.238～239 p.240 p.252, p.264～267 p.268 p.276, p.286</p>
漢文編	<p>真理を探求する人間のさまざまなありようを示すことによって, 生徒の人間性・社会性の涵養に働きかけられる題材を採録した(第1号)。</p>	<p>p.298～299, p.300～301, p.302～303, p.324～329</p>
	<p>「言語活動」を設定し, 具体的な学習テーマと事例を示すことで, 生徒が主体性を発揮して課題に取り組めるようにした(第2号)。</p>	<p>p.304</p>
	<p>古典における理念や社会秩序についての基本的な考え方に深く関わる題材を採録し, 生徒が現代の社会や人間関係にも共通する問題として考えを深めることができるようにした(第3号)。</p>	<p>p.306, p.308, p.309, p.316～317, p.318～319, p.320～321</p>
	<p>生命や自然に深く関わる題材を採録し, 表現を吟味する活動を通して, 生命・自然を尊重する態度を養えるよう考慮した(第4号)。</p>	<p>p.307, p.310</p>
	<p>「漢文の学習」「訓読に親しむ」「漢文を読むために」「漢詩のきまり」「古典のしるべ」を適宜設定して, 中国の伝統的な言語文化を解説し, 興味・関心を喚起できるようにした(第5号)。</p>	<p>p.288～289 p.290 p.291, p.292, p.293, p.294, p.295 p.312～313 p.314, p.322, p.330</p>
付録	<p>「古典文学史年表」「文語・口語文法要覧」「基本古語一覧」「中国文化史年表」「漢文重要語彙一覧」「漢文基本句形一覧」等を置き, 言語を中心とする我が国や中国の伝統的な文化について紹介した。また, 口絵には我が国の伝統的な住居・服装・調度・楽器等を示し, 興味・関心を喚起できるようにした(第5号)。</p>	<p>p.332～335, p.336～343, p.344～347, p.348～349, p.350～351, p.352～353, 口絵(巻末)p.7～11</p>

#### 4．上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第51条1号「国家及び社会の形成者として必要な資質を養うこと」、また、第3号「社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと」等の規定を踏まえ、各編の各教材の最後に「学習」として課題を用意し、発表や話し合いを含む多様な学習活動を設定した。教材の主題に対する理解を深め、自らの考えを的確に表現する能力を養うとともに、生徒相互の意見交流を通じて、多角的で客観性のある批判的思考能力を養えるよう配慮した。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-143	高等学校	国語科	国語総合	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
183 第一	国総 361	高等学校 改訂版 標準国語総合		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

1. 単元構成，教材選定などにおいては，教育現場の意見・要望を尊重し，学習指導の実態に即応できるように考慮した。中学校の国語科との関連も配慮し，基礎的・基本的な事項を精選した。
2. 言語文化の理解と享受を通して，生徒が主体的・創造的な人間形成に進めるよう配慮した。
3. 「A 話すこと・聞くこと」「B 書くこと」に関しては，「表現の実践」でまとまった指導ができるようにし，さらに「言語活動」を通して，表現力を養い，互いに伝え合う力を高められるよう工夫した。
4. 「A 話すこと・聞くこと」の言語活動として，「言語活動例」に即して次の内容を用意した。
  - ア 状況に応じた話題を選んでスピーチしたり，資料に基づいて説明したりすること。  
p.196「資料に基づいて説明する」，p.198「スピーチをする」
  - イ 調査したことなどをまとめて報告や発表をしたり，内容や表現の仕方を吟味しながらそれらを聞いたりすること。 p.216「調査をもとに報告する」
  - ウ 反論を想定して発言したり疑問点を質問したりしながら，課題に応じた話合いや討論などを行うこと。  
p.207「話し合いをする」，p.210「ディベートで討論する」
5. 「B 書くこと」の言語活動として，「言語活動例」に即して次の内容を用意した。
  - ア 情景や心情の描写を取り入れて，詩歌をつくったり随筆などを書いたりすること。 p.202「創作をする」
  - イ 出典を明示して文章や図表などを引用し，説明や意見などを書くこと。  
p.200「説明文を書く」，p.213「意見を述べる」
  - ウ 相手や目的に応じた語句を用い，手紙や通知などを書くこと。 p.204「手紙の書き方」
6. 「C 読むこと」に関しては，古典や近代の評価の定まった文章から教材を選定するとともに，現代の文章においては，社会的要請にも応え得るよう，広い視野から様々な文種を教材とし，有機的に組織した。
7. 「C 読むこと」の言語活動として，「言語活動例」に即して次の内容を用意した。
  - ア 文章を読んで脚本にしたり，古典を現代の物語に書き換えたりすること。  
p.202「創作をする」，p.277「古典の和歌を現代の言葉で書き換える」
  - イ 文字，音声，画像などのメディアによって表現された情報を，課題に応じて読み取り，取捨選択してまとめること。 p.188「情報探索の方法と実践」，p.235「『竹取物語』の求婚譚を調べる」，p.304「故事成語の由来と意味を調べる」
  - ウ 現代の社会生活で必要とされている実用的な文章を読んで内容を理解し，自分の考えをもって話し合うこと。 p.188「情報探索の方法と実践」
  - エ 様々な文章を読み比べ，内容や表現の仕方について，感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。  
p.202「創作をする」，p.277「古典の和歌を現代の言葉で書き換える」
- 8.〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕に関して，他の指導領域との有機的な関連のうえに指導できるように配慮した。
  - ア 伝統的な言語文化に関する事項……古文編・漢文編にコラム「古典のしるべ」を設定し，「C 読むこと」の内容と関連づけながら，言語文化の伝統について解説した。また，コラム「古文を読むために」「漢文を読むために」を設定し，「C 読むこと」の内容と関連づけながら，文語や訓読のきまりを学べるようにした。漢文編では，本文中に現れた基本句形を，見開きページごとの脚注欄に整理した。巻末には「文語・口語文法要覧」「基本古語一覧」「漢文重要語彙一覧」「漢文基本句形一覧」等を掲載した。
  - イ 言葉の特徴やきまりに関する事項……現代文編において，「C 読むこと」の内容と関連付けて，語彙や表現・表記等について理解を深める課題「言葉と表現」を用意した。また，本文中に現れた注意すべき語句（熟語・慣用句等）を，初出を原則に抽出し，見開きページごとの脚注欄に整理した。
  - ウ 漢字に関する事項……現代文編の「C 読むこと」の教材中にあらわれる常用漢字のうち，小学校で学習したものの以外の漢字を中心に，初出を原則として抽出し，「重要漢字」として整理した。巻末には「常用漢字表・付表」を掲載した。
9. 「内容の取扱い」のウ「読書指導」へ対応するため，前見返しに「読書のしるべ」を用意した。教科書に採録した教材のうち，特に小説を取り上げ，「C 読むこと」の指導に即して読書の幅を広げることができるようにした。また，現代文編には「文学のしるべ」を置き，教材の主題に関連する内容を扱った作品を紹介した。



図書の構成・内容 箇所(ページ)		学習指導要領 の内容																					
		鏡	科学は正しいか	イースター島になぜ森がないのか	情報探索の方法と実践	①資料に基づいて説明する	②スピーチをする	③説明文を書く	④創作をする	⑤手紙の書き方	⑥話し合いをする	⑦ディベートで討論する	⑧意見を述べる	⑨調査をもとに報告する	古文の学習	児のそら寝	古文を読むために1	三文にて唐二	古文を読むために2	古典のしるべ①			
A 話す・聞く	指導事項	ア	○	○	○	○		○				○	○				○						
		イ	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○		○						
		ウ	○	○	○	○	○	○				○	○				○						
		エ					○	○	○	○				○	○								
	言語活動例	ア		○			○	○	○		○												
		イ				○	○	○	○			○	○	○									
		ウ	○	○	○						○	○				○							
	B 書く	指導事項	ア				○		○	○	○		○	○	○								
			イ				○		○				○	○	○								
			ウ				○		○	○	○			○	○								
			エ				○			○	○			○	○								
		言語活動例	ア								○												
			イ				○			○			○	○	○								
			ウ									○											
	C 読む	指導事項	ア	○	○	○	○										○			○			
			イ	○	○	○	○									○	○			○		○	
ウ			○							○						○			○				
エ			○	○	○	○										○			○				
オ			○	○	○	○										○			○			○	
言語活動例		ア								○						○							
		イ	○	○	○	○									○	○			○				
		ウ				○																	
		エ																					
		ウ																					
伝統的な言語文化の理解の深化と継承の事項	ア	(ア)													○		○		○		○		
		(イ)														○	○	○	○	○			
	イ	(ア)	○	○	○										○	○	○	○	○	○			
		(イ)	○	○	○											○	○	○	○	○			
ウ	(ア)	○	○	○																			
配当時数			3	3	3	2	4	4	6	6	6	4	4	6	6	0.5	1	0.5	1	0.5			

図書の構成・内容 箇所(ページ)		学習指導要領 の内容																			
		なよ竹のかげや姫 2322～2325	『竹取物語』の求婚譚を調べる 2326～2327	絵仏師良秀 2328～2329	古文を読むために3 2330～2331	古典のしるべ② 240	十訓抄 242～243	古本説話集 244～245	徒然草 246～251	古典のしるべ③ 252	伊勢物語 254～261	土佐日記 262～263	古文を読むために4 264～267	古典のしるべ④ 268	万葉・古今・新古今 270～275	古典のしるべ⑤ 276	古典の和歌を現代の言葉で書き換える 277～280	奥の細道 281～282	古典のしるべ⑥ 286	漢文の学習 288～289	
A 話す・聞く	指導事項	ア		○			○		○												
		イ		○			○		○												
		ウ		○			○														
	言語活動例	ア							○												
イ																					
ウ			○			○															
B 書く	指導事項	ア	○											○		○					
		イ	○											○		○					
		ウ												○		○					
		エ												○		○					
	言語活動例	ア												○		○					
		イ		○																	
C 読む	指導事項	ア	○	○	○		○	○	○	○	○			○		○			○	○	
		イ	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
		ウ	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
		エ	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
		オ	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	言語活動例	ア															○				
		イ	○	○	○		○	○	○		○	○			○				○		○
		ウ																			
		エ															○				
	伝統的・文化的な言語活動や民間の言語活動等に関する事項	ア	(ア)			○	○			○			○	○		○		○	○	○	○
			(イ)	○		○	○		○	○	○	○	○	○		○			○	○	○
		イ	(ア)	○		○	○		○	○	○	○	○		○	○			○	○	○
(イ)			○		○	○		○	○	○	○	○		○	○			○	○	○	
ウ	(ア)																				
配当時数		1	2	1	0.5		1	1	2.5		4	2	0.5		3		2	4		0.5	

図書の構成・内容 箇所(ページ)		学習指導要領 の内容																		
		訓読に親しむ(一) 290	漢文を読むために1 291	訓読に親しむ(二) 292	漢文を読むために2 293	訓読に親しむ(三) 294	漢文を読むために3 295	五十歩百歩 298～299	矛盾 300～301	蛇足 302～303	故事成語の由来と意味を調べる 304	唐詩の世界 306～310	漢詩のきまり 312～313	古典のしるべ⑦ 314	鶏口牛後 316～317	完璧 318～319	先従隗始 320～321	古典のしるべ⑧ 322	論語 324～325	古典のしるべ⑨ 330
A 話す・聞く	指導事項	ア														○				
		イ														○				
		ウ														○				
		エ																		
B 書く	指導事項	ア																		
		イ																		
		ウ																		
		エ																		
C 読む	指導事項	ア						○	○	○		○				○	○		○	
		イ						○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○
		ウ						○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○
		エ						○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○
指導事項	ア							○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
	イ							○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
	ウ							○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
	エ							○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
配当時間	0.5	ア	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		イ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ウ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		エ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
配当時間		0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1	1	1	2	3.5	0.5	2	2	2		4.5		